

## 令和6年度 県アレルギー疾患医療拠点病院事業計画

病院名	神奈川県立こども医療センター
所属名	アレルギーセンター
担当者氏名	センター長 犬尾千聡
連絡先(電話番号)	( 045 ) 711 - 2351

## 1. 病院相互の連携及び診療連携体制の構築について

令和6年度 事業内容等	(参考) 令和5年度事業 実施状況、実績見込等
<p>アレルギーセンター長による施設に対するヒアリングを継続する。地域連携についてシステム構築（外部施設によるカルテ閲覧システム）の説明を行い、より親密な地域医療連携構築に努める。特に、小児科単科以外の診療所への訪問に勤める。目標訪問数：20 施設</p> <p>アレルギー疾患の対応方法について、「神奈川県立こども医療センター地域医療支援事業研修会」を地域医療機関に対してオンラインで配信する。</p>	<p>アレルギーセンター長が地域の医療機関訪問を直接訪問し、アレルギー診療内容、患者数、対応などについてヒアリングを行い、一般診療における課題について調査を行っている。病院内での調整の都合があり、令和5年度の施設訪問数は、令和4年度の20施設から減少して3施設だった(資料1)。</p> <p>診療所において、アレルギー対応に苦慮している現状が把握できた。</p>

## 2. 患者やその家族、地域住民に対する適切な情報の提供

令和6年度 事業内容等	(参考) 令和5年度事業 実施状況、実績見込等
<p>神奈川県立こども医療センター主催の県民向けの講演会を主催する（オンライン配信予定）。</p> <p>ホームページについては、病院全体のホームページ改定に際して、厚生労働省の「アレルギーポータル」からの情報提供に努める。</p>	<p>病院ホームページを改定し、紹介受診してからの患者が受ける治療について流れについて解説する説明を付記した。</p> <p>厚生労働省の「アレルギーポータル」へのリンクを作成し、より正確な知識普及に努めている。</p>

## 3. 医療従事者や保健師、栄養士、教職員等に対する研修等

令和6年度 事業内容等	(参考) 令和5年度事業 実施状況、実績見込等
<p>2024年度の医師、またはエドゥケーターによる保健師、栄養士、教職員等に対する研修は10件を目標としている。</p>	<p>2022年度の研修件数は11件だった(資料2)。</p> <p>開催数はコロナ感染症発生前より減少している。オンラインでの開催も可能なことを関係各所への周知に努める(資料3)</p>

## 4. 県内のアレルギー疾患の実情を把握するための調査等

令和6年度 事業内容等	(参考) 令和5年度事業 実施状況、実績見込等
アレルギーがどのように乳幼児・その保護者の生活を障害している状況を健診の間診票を通じて把握する予定である。	実績なし

## 5. 学校等に対する医学的見地からの助言等

令和6年度 事業内容等	(参考) 令和5年度事業 実施状況、実績見込等
今年度は、一部自治体だけではなく、全体を管轄する県の教育委員会を通じて、統一した食物アレルギーの対応を図ることを検討し、令和4年度に策定した基本指針を元に対応を検討していく。	給食対応を含め、対応方針の基本的な指針を策定し、それにも基づいて対応している(資料4)。 1年ごとに血液検査結果を提出させているなどのガイドラインから逸脱している指導を行っている施設に助言を行った(2施設)。

## 6. その他の事業(任意記載)

令和6年度 事業内容等	(参考) 令和5年度事業 実施状況、実績見込等

## 7. 県拠点病院としての取組について(年度ごとの取組にかかわらず記載してください。)

<p>&lt;ペットアレルギーに対する治療&gt; 県内犬の登録頭数は平成13年度 339,266頭だったが、平成28年度には469,491頭と15年間で約1.4倍に増加している。当施設ではペットアレルギーに対して臨床研究としてイヌ・ネコアレルギーを用いたアレルギー免疫療法を施行していた。その治療効果について現在集計検討し、ペットアレルギー対策を提示できることを目指している。</p> <p>&lt;アレルギー児に対する食事指導&gt; 2018年4月より当院では、卵、牛乳アレルギー児、あるいは検査によりアレルギーが強く疑われる児に対して、卵そのものや牛乳そのものから少量ずつ摂取するのではなく、強い加熱処理が行われた食材(baked egg, baked milk)から摂取を進めていくEgg Ladder, Milk Ladderという食事指導を行っている(資料5)。導入6年となり、導入前後での患者の状態を把握し、この食事指導方法の長所・短所を検討している。</p>
--

## 医療機関訪問

<2023 年 8 月 29 日 (火曜日)>

いどがやこどもクリニック (神奈川県横浜市南区井土ヶ谷中町)

<2023 年 9 月 19 日 (火曜日)>

蒔田さとう皮膚科 (神奈川県横浜市南区花之木町)

<2023 年 11 月 10 日 (金曜日)>

さくらやま小児科クリニック (神奈川県逗子市桜山)

## 令和5年度 地域への講師派遣

表 令和5年度 地域への講師派遣状況

日 時	依頼元(会場)	テーマ・内容	対象	講師
6月27日(火) 15:00-17:00	三浦市立初声中学校	講演:「食物アレルギー対応研修会」	母子保健従事者	アレルギー科 犬尾 千聡医師
7月8日(土)	専門職のためのアレルギーの最新知識 明日から役に立つスキンケアの実際と緊急時対応	横浜市港北区 尚花愛児園	施設職員	アレルギー科 高増 哲也医師
7月25日(火) 14:15-16:15	鎌倉生涯学習センター(きらら鎌倉)	講義:「食物アレルギーへの準備と発生時の対応について」	小学校、中学校の教職員、幼稚園教諭、認定こども園の保育教諭、保育園保育士、こどもの家指導者等	アレルギー科 犬尾 千聡医師
9月2日(土)	横浜市役所 親子で学ぼうアレルギーワークショップ	アレルギーってなんだろう 食物アレルギーを中心に 実地と動画配信	一般市民	アレルギー科 高増 哲也医師
9月7日(木)	横浜市こども青少年局三春学園	専門職のためのアレルギーの最新知識と緊急時対応	施設職員	アレルギー科 高増 哲也医師
10月7日(土)	こどものアレルギー入門	茅ヶ崎市医師会 茅ヶ崎保健所	一般市民	アレルギー科 高増 哲也医師
10月12日(木) ～10月25日(水)	神奈川県立保健福祉大学	講演:「アレルギーとは」「気管支喘息、花粉症」「アトピー性皮膚炎、食物アレルギー」 オンデマンド開催	保健・医療・福祉関係従事者(主に乳幼児を支援する現任者)	アレルギー科 高増 哲也医師 松本由里香医師 藤田 真弓医師
10月26日(木) 13:15～14:45、15:00～16:30	神奈川県立保健福祉大学	講演:「アレルギーの最新知識」「まとめ・現場の困りごとに応えます質疑応答」 オンライン開催	保健・医療・福祉関係従事者(主に乳幼児を支援する現任者)	アレルギー科 高増 哲也医師
11月7日(火) 14:00-16:00	(公社)かながわ福祉サービス振興会	講演:「食物アレルギー緊急時対応研修」 オンライン開催	神奈川県内の保育園や学校等のアレルギー疾患のある者に携わる可能性のある職員	アレルギー科 犬尾 千聡医師

12月2日 (土)	神奈川県立保健福祉大学 実践教育センター 子どもの食育支援研修	食物アレルギー 診断と最新治療	保健・医療・福祉関係従事者	アレルギー科 高増 哲也医師
12月19日 (火) 14:00-16:00	(公社)かながわ福祉サービス振興会	講演：「食物アレルギー緊急時対応研修」 オンライン開催	神奈川県内の保育園や学校等のアレルギー疾患のある者に携わる可能性のある職員	アレルギー科 犬尾 千聡医師

Zoomによるオンライン配信

# アレルギーセミナー

食物アレルギー・アトピー性皮膚炎・気管支喘息

神奈川県立こども医療センター(神奈川県アレルギー疾患医療拠点病院)



小さなお子さんがある保護者の中には、こどものアレルギーについて不安を抱えている方もおられます。しかし、子連れではセミナーには足が運びづらいという声をよく耳にします。また、現在の社会情勢では、人が集まってのセミナーは企画しづらい状況です。

神奈川県立こども医療センター アレルギーセンターでは、自宅から参加できるZoomを使ったオンラインセミナーを実施できる体制を整えました。

## 開催までの流れ（100人まで参加可能）

企画者はネットや健診などで参加者を募り、参加希望者に当アレルギーセンターが設定したurlとパスワードを連絡しておきます。参加者は開催時刻にurlをクリックすれば自宅からスマホ・タブレットなどを使ってセミナーに参加することが出来ます。

## 講演依頼(企画内容の相談も含む)

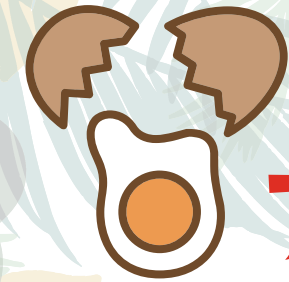
神奈川県立こども医療センター 母子保健推進室

担当:野口 [noguchi.20011@kanagawa-pho.jp](mailto:noguchi.20011@kanagawa-pho.jp) 045-711-2351(内線5373)

# 食物アレルギー 集団生活での原則

- こどもに対する、責任者・最終決定者は、保護者である
- 除去すべき食物の種類を決める主体は、保護者
- 教育関係者、医師はサポーター、アドバイスをする立場
- 医師は生活管理指導票を作成する
- 学校、幼稚園、保育園はこどもの食を含む生活環境を提案
- 診断の手段(病歴の問診、血液検査、皮膚検査、負荷試験)は医師が判断する

# 5つのステップで アレルギーと仲良くなろう



## STEP 5

- (1) バニラアイス
- (2) 半熟～生卵



- (3) ゆで卵



## STEP 1

Baked Egg として  
スティックパン  
少量から増量



## STEP 3

卵を主とした  
料理



- (1) プリン



- (2) 卵焼き



- (5) マヨネーズ



- (4) ケーキ

## STEP 3

卵をつなぎで  
使用した製品



- (1) ハンバーグ



- (3) 天ぷら



- (2) 唐揚げ



- (4) 中華麺

- (5) 練り物



## STEP 2

卵の含有量の  
少ない製品



- (1) クッキー

- (2) ハム

- (3) ベーコン

症状が出ない範囲で  
無理せず継続して  
チャレンジしてね

少しずつ  
食べられるように  
なってきたよ!

### ⚠ 注意書き

- ・ Step1 から開始し Step4-5 を目指しましょう
- ・ 少量から始めできるだけ毎日摂取し問題なければ、1週間毎に約 20% ずつ徐々に増量しましょう
- ・ 指示された Step の中で少ない数字の食材からいろいろと摂取していきましょう
- ・ Step を上げるときは医師に相談してからにしましょう
- ・ Step を飛ばすことはしないでください
- ・ ステップアップした際にアレルギー症状が出た場合はステップを戻り、以前食べられていた食品の摂取を継続しましょう
- ・ 無理せずに症状が出ない範囲でいやな気持なく続けることが大事です





# 5つのステップで アレルギーと仲良くなろう



## STEP 5

乳そのもの



(1) ショートケーキ



(2) 牛乳



(3) グラタン



(4) ピザ



(2) プリン



(3) クリーム  
シチュー



(3) アイス



(4) 乳酸飲料



(3) チョコレート



(2) ハム

## STEP 3

乳含有中等量の  
料理・製品



(1) バター

## STEP 1

Baked Milk として  
スティックパン  
少量から増量

## STEP 2

乳含有少量



(1) 卵ボーロ



(2) 食パン

(3) クッキー



症状が出ない範囲で  
無理せず継続して  
チャレンジしてね



少しずつ  
食べられるように  
なってきたよ!

### ⚠ 注意書き

- Step 1 から開始し Step 4-5 を目指しましょう
- 少量から始めできるだけ毎日摂取し問題なければ、1 週間毎に約 20% ずつ徐々に増量しましょう
- 指示された Step の中で少ない数字の食材からいろいろと摂取していきましょう
- Step を上げるときは医師に相談してからにしましょう
- Step を飛ばすことはしないでください
- ステップアップした際にアレルギー症状が出た場合はステップを戻り、以前食べられていた食品の摂取を継続しましょう
- 無理せずに症状が出ない範囲でいやな気持なく続けることが大事です